

吉野ヶ里

源
を活かすまち

快適で豊かな暮らしとは
歴史、自然、人がありのままの姿で
活かされること。
原点の大切さを追求する
吉野ヶ里。

佐賀県
吉野ヶ里町
町勢要覧
2018





日本を代表する遺跡「吉野ヶ里遺跡」。
 弥生時代から続く長い歴史と、
 それを守り、伝えてきた人々。
 吉野ヶ里町は、日本の生活文化のルーツである
 歴史が今に残され、活かされているまちです。

吉野ヶ里町は九州の佐賀県にあります。



優れた立地条件

立地に優れ、長崎街道の宿場町としても栄えました。

JR佐賀駅	約13分	JR吉野ヶ里公園駅	鳥栖IC	約10分	長崎自動車道東脊振IC
JR博多駅	約45分	吉野ヶ里町	太宰府IC	約25分	
佐賀空港	約40分				
福岡空港	約40分				

「住みやすい町」であり続けるために。

佐賀県東部に位置する吉野ヶ里町は、JR吉野ヶ里公園駅、長崎自動車道東脊振ICを有する交通の要衝であり、邪馬台国を彷彿とさせる吉野ヶ里遺跡が発見されたように、古くから人が住んでいた「住みやすい町」です。
 基幹産業である農業のほか、立地を活かした企業誘致による雇用の確保、国営公園を核とした観光による町づくりを進めています。



吉野ヶ里町長
 伊東 健吾

町長あいさつ



日本の「暮らし」のルーツ
となる場所がいくつも残る
吉野ヶ里町では、
豊かな歴史や自然を活かした
癒やしと感動の
「暮らし」が築かれています。
吉野ヶ里町ならではの魅力を、
新たに、または改めて
発見してみませんか？

吉野ヶ里 新・再発見

歴史と自然の「源」を活かす吉野ヶ里の暮らし

水と緑と
弥生の歴史が結び合う
さまざまな顔を
持ったまち

豊かな自然や貴重な歴史文化を
有するとともに、生活利便性の高
いまちとして発展し続けるまち。
吉野ヶ里町。人と歴史と自然が共
生するこのまちには、多くの人た
ちを惹きつけるたくさんの魅力が
溢れています。

農産物が豊かなまち



まちの新たな特産品である「吉野ガーリック」は、通常の5～6倍の大きさが特徴。有機栽培自慢の逸品です。

立地とアクセスの良いまち



長崎自動車道、国道34号、JR長崎本線が東西を貫いており、近隣市町とのアクセスも抜群。

軽トラ市に県内外から10,000人!



100店舗以上のお店が集結する吉野ヶ里の名物祭りへ発展しました。

実は日本最初のお茶の栽培地



日本茶樹栽培発祥の地を示す記念碑が立つ霊仙寺跡には、八百年の歴史を誇る茶畑が広がっています。

日本文化の原点が遺る「吉野ヶ里遺跡」(国営・県営公園)



日本の定住文化が根付いた日本最大級の弥生のクニ。

天然水が湧き出る美しい水のまち



脊振山系からの天然水が湧き出る吉野ヶ里は大勢の水汲み客でにぎわっています。

東脊振インターチェンジ

九州自動車道の久留米・八女IC、鳥栖ICにも近接しており、福岡都市圏をはじめ、九州全域へのアクセスも容易。



立地の良さを 活かした 拠点づくり

交通環境・基盤整備により
快適な生活、活気ある産業と交流を
育んでいます。

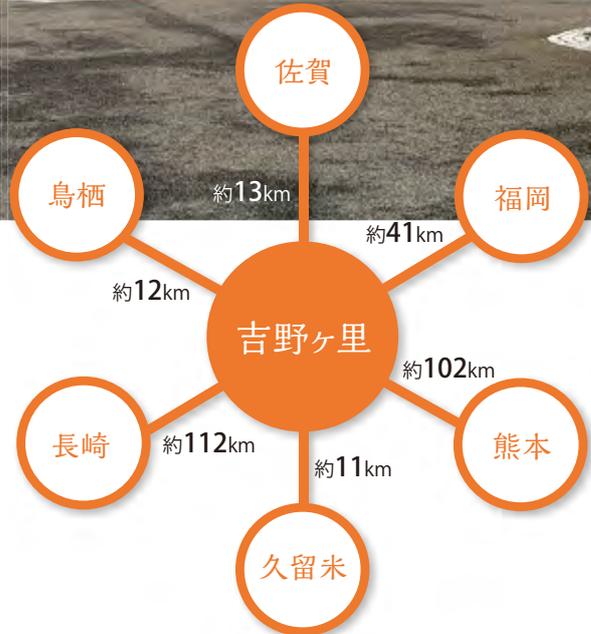
長崎自動車道が町の中央部を横断し、東脊振インターチェンジが設置されている他、南北には、福岡市と柳川市を結ぶ国道385号が通っています。国道385号は、平成18年に東脊振トンネルが開通し、福岡都市圏との交流基盤が一層強化されました。これらのことから本町では、利便性の高い道路網が形成され、広域的アクセスに恵まれています。

公共交通機関については、JR長崎本線が南部を横断し、吉野ヶ里公園駅が設置されています。今後も、町内道路網の計画的な整備を進めるとともに、公共交通機関の充実を進めます。

JR吉野ヶ里公園駅

吉野ヶ里遺跡(吉野ヶ里歴史公園)の最寄駅となったことから、平成5年に現駅名に改称されました。

快適の源



交通拠点としての役割



東脊振トンネル

平成18年3月、国道385号に完成したトンネル。県境の山麓部を通過する福岡方面からのアクセスが改善されました。



観光拠点としての 基盤整備

吉野ヶ里歴史公園を核とした観光拠点としての基盤整備を進めています。アクセス環境の改善が行われたことを機に開設された道の駅や観光関連施設の整備など、公園周辺を周遊できる場が増加しています。



五ヶ山ダム水源地域

五ヶ山ダム水源地域を「観光・交流拠点」として位置づけ、観光基盤の整備を進めました。豊かな自然や福岡県に隣接する立地条件を活かした都市と農村との交流拠点として活用していきます。

また、本町の観光拠点の一つである吉野ヶ里歴史公園は、まちの観光・交流の核として町内外から多くの観光客を引き込んでいます。福岡県那珂川市と本町の町境に位置する「五ヶ山ダム」においても、都市と農山村との交流・連携の促進を図ることを目的に、観光基盤の整備を進めてきました。今後自然や歴史を活かした、にぎわいのある市街地環境の創出に努めていきます。

利便性の高い道路交通網が形成されている吉野ヶ里町。鉄道面では、平成23年3月に九州新幹線の新鳥栖駅が開業し、平成24年3月のダイヤ改正では、朝夕各1便の特急列車が吉野ヶ里公園駅に停車するようになり、さらに本町へのアクセスが向上しました。今後も産業活動の広域化や、より快適な生活環境基盤の整備・充実を図っていきます。

より良い利便性を
めざして

快適で利便性の高いまち

立地を活かした
企業誘致

吉野ヶ里町はインターチェンジを有しているため、長崎自動車道周辺や町東部の工業団地に企業が多く立地しています。現在、新たな工業適地開発を進めており、町内の数地区から開発の要望書も提出されています。産業の活性化と雇用の場の拡充、そして町経済のさらなる発展に期待できます。



【誘致企業一覧】

【佐賀東部中核工業団地】(株)ヤマコ佐賀工場/田中電子工業(株)/日立化成電子材料九州(株)/児島ダンボール(株)佐賀工場/日進化成(株)佐賀工場/大塚製薬(株)佐賀工場/(株)リンガーハット佐賀工場/トヨタ工機(株)吉野ヶ里工場/山宗化学(株)佐賀工場/(株)ヨコオ吉野ヶ里事務所/ロックペイント(株)九州工場/精発九州(株)/(株)日陸九州物流センター/(株)ブリヂストン佐賀工場/(株)三和ダイテック/椿化工(株)九州工場

【立野工業団地】佐賀エレクトロニクス(株)佐賀製作所/(株)ゴール九州工場/佐賀酸素工業(株)/福岡酸素(株)三田川営業所/ニシム電子工業(株)佐賀工場/チクシ電気(株)佐賀工場/トッパンプラスチック(株)佐賀工場/シーテック(株)/江藤酸素(株)

【三津工業団地】昭和金属工業(株)佐賀東脊振工場

【東脊振東部工業団地】(株)エフビコ九州工場/エフビコ物流(株)九州配送センター/カナフレックスコーポレーション(株)九州工場/(株)ゴードー九州工場

【その他】(株)合瀬製作所/(株)川崎食品佐賀工場/西研グラフィックス(株)佐賀工場/中国塗料(株)九州工場/(株)トーアパレル佐賀工場/(株)NBSロジナル鳥栖西倉庫/(株)不二家吉野ヶ里工場/三井住友建設(株)三田川PC工場/(株)キョーワ東脊振営業所



吉野ヶ里 定住のススメ

家族が笑顔な
ワケ
理由

日本の
「暮らし」の
ルーツがある
吉野ヶ里町。

その住み良さの
ワケとは？
「快適なまち」
であることの
理由を
ひも解きます。





吉野ヶ里町三田川児童館

平日の午前中は主に乳幼児とお母さん方が、午後は学校帰りの児童が利用しています。土曜日には、小学生向けの催しで賑わっています。

充実した
子育て支援

休日には
多くの
家族連れで
にぎわう



吉野ヶ里歴史公園

98棟の弥生時代の建物が復元され、往時の暮らしの風景が再現されています。体験プログラムで古代体験もでき、子どもからおとなまで幅広い世代が楽しめます。

おいしい水が
評判です



道の駅吉野ヶ里さざんか千坊館

道の駅の前にある給水所では、東脊振トンネルより湧き出るおいしい天然水が無料で汲めます。

多くの人に
選ばれるまち

安心できる
暮らしがある

歴史や自然と利便性が調和する吉野ヶ里町では、快適な生活を育むまちづくりを行っています。延長保育や一時預かり、休日保育事業などの保育サービスの充実や子育て世帯の経済的負担の軽減に取り組みむなど、子育て家庭の多様化するニーズに応えるとともに、子育て支援施策の充実に努めています。また、若い世代の定住・移住の

促進、快適で安全な居住環境づくりに向け、新たな住宅地の形成を進めています。さらに吉野ヶ里町では子育て世代だけではなく、すべての町民が安全に、そして安心して暮らせる環境を、福祉・保健・医療・教育・労働・住宅などに関係する専門機関・地域・事業者等が一体となつてめざしています。だれもが住みやすいまちづくりに取り組むまちだからこそ、多くの人に選ばれる「暮らし」が実現できているのです。

子どもたちの 憩いの広場

吉野ヶ里町
三田川児童館

児童館の利用は、乳幼児から高校生までが対象で、遊びづくり・出会いづくり・居場所づくりに努め、よりよい時間を過ごすしてもらいたいとしています。利用日は、月曜から土曜日まで。乳幼児の皆さんには、主に月曜日に、手作りおもちゃやお話、音楽、ものづくりなどの催しで楽しんでもらっています。また、小学生は、土曜日に工作や卓球、クッキングなどで楽しめます。どうぞお気軽に立ち寄ってください。

Interview



トム・ソーヤの森

権現山の麓にある自然公園。展望トリデや海賊船の遊具、フィールドアスレチックやバードウォッチングなどを楽しむことができます。

まち全体が
学びの場

吉野ヶ里で のびのび育つ 子どもたち

地域特性を活かした
特色ある教育で
未来を担う子ども
の
生さる力を育みます。

【学校教育】

特色ある 教育の推進

電子黒板や学習者用端末も導入し、ICTを利用した教育を進めています。また、町独自の臨時教師の配置により少人数やティーム・ティーチング授業が定着するとともに、小学校へのA・L・Tの配置、研究授業の成果を基に指導方法の工夫・改善に努めるなど、活気のある授業が展開されています。



このまちには「学び」がたまっている

【文化芸術】

バンブーオーケストラ

赤熊太鼓

地元のアマチュア合奏団で、メンバーは小学生からおとなまでと幅広い世代が活躍しています。また、地域文化にもふれる体験活動にも取り組んでいます。



【スポーツ振興】

スポーツ少年団

町内の各小学校を中心として、スポーツクラブの活動が展開されています。また、プロサッカーチームによるサッカー教室を開催するなど、大会・教室を通してスポーツの普及、レクリエーション活動の普及を行い、スポーツ活動・生涯スポーツの充実・振興に努めています。



【郷土学習】

自然に学ぶ 食育

保育園、こども園、幼稚園では、食べ物に関する興味と知識を深める農業体験を実施しています。小・中学校においては、食材に親しむための農業体験や、農家と連携して実際に米作りを実施し、栽培の大変さ、収穫の喜びを実際に体験しています。





吉野ヶ里 夢ロマン 軽トラ市

新鮮な野菜や果物、海産物、工芸品、衣料品など自慢の品を軽トラックの荷台で直接販売する朝市。100店舗以上のお店がずらりと並び、イベントも行われるため家族で楽しめます。



おいしい！が生まれるまち

こだわりの **土**、**水** から生まれる
オーガニックスタイル

食と農の
関係

食と農



ヤマメ

道の駅内の食事処では、注文を受けてから炭火で焼き上げる、ほっくりとやわらかいヤマメが食べられます。

脊振ジビエ

精肉に適した個体のみを選定し、適切に処理をしているため、安全かつ臭みが少ない猪肉を楽しめます。



酵母パン

道の駅で販売されているパンは、東脊振トンネルの真ん中から湧き出る天然水と、じっくり低温で熟成させた酵母を使っています。特に、こだわりのドイツパンが人気。



大地と自然の恵み

豊かな自然に囲まれた吉野ヶ里町は、農作物の生産が盛んに行われています。佐賀平野を形成する肥沃な平坦地と中山間地域に開けた耕地を利用し、古くから米麦作を中心とした農業が営まれ、現在では、米、麦、大豆の生産をはじめ、イチゴやアスパラガスなどの野菜生産、果樹栽培、さらに畜産、茶栽培などが行われています。町内の農家では、有機肥料を用いた安全な農法でさまざまな種類の野菜を栽培し、県内はもちろん全国各地に採れたての野菜を届けています。

また、毎月第1日曜日に行われる軽トラ市では、他地域や県外からも出店され、新鮮でおいしい野菜や名物が一堂に会し、多くの来場者でにぎわいます。

この他にも、手作りの醤油や味噌、和菓子など、太陽と大地、そして人の手のぬくもりが作りあげた逸品が揃います。

栄西茶スイーツ

日本茶樹栽培始まりの地で生産された特産の栄西茶を贅沢に使用したスイーツが、道の駅や町内の菓子店で販売されています。心をこめて作られたスイーツはどれも絶品です。



有機野菜

脊振山が育むおいしい水、こだわりの有機肥料を使い、安心安全に作られた野菜が道の駅などで購入できます。



道の駅吉野ヶ里 さざんか干坊館

地産地消

あふれる
にぎわい



イチゴ、シイタケ、タケノコ、吉野ガーリックなど、新鮮で安全・安心な野菜が購入できます。

脊振山の麓で ほつと二息

道の駅では、地元で採れた農産物の購入や、料理が楽しめます。天然水と天然酵母を使ったパン屋の人気ナンパーは地元のシロガネ小麦を使用したカンパニー。また、農家の主婦が営むレストランでは、収穫したばかりの新鮮な野菜などを使った家庭料理が人気。この他にも、三瀬鶏の串焼き、ヤマメの塩焼きなど、吉野ヶ里ならではの料理が味わえます。



福岡県との県境、国道385号沿いにある道の駅。周辺には、千石山サザンカ自生北限地、吉野ヶ里遺跡などがあります。



ひがしせふり温泉 山茶花の湯

人に、地域に、良い関係がある

観光拠点



ちょっと小高い山の上に建てられた日帰り温泉施設。大浴場をはじめ、食事処、ほぐし処、直売所などを備えています。



自然を肌いっぱい感じる

佐賀平野と脊振山地を二望する露天風呂は絶景。日本で初めて茶樹栽培を行ったとされる吉野ヶ里ならではの茶葉を浮かべた生茶風呂が人気です。

温泉以外の水は東脊振トンネルから湧き出る天然水を引き、浴場はもちろん、食事処などで使われています。地産地消を中心に、天然物の素材を活かした食事が楽しい、日常から開放され、憩いの二時が過ごせます。

地元の野菜と佐賀の米、神埼素麺、三瀬鶏、タマゴなどがつまった「山茶花膳」など、地産地消メニューを用意しています。

日本茶の
ルーツ

霊仙寺跡に広がる茶畑

標高約300メートルに位置する霊仙寺は、朝晩の温度差が激しい高冷地、寒暖の差が大きい昼夜の気温、朝夕の深い霧、というお茶栽培に最適の条件が揃っています。



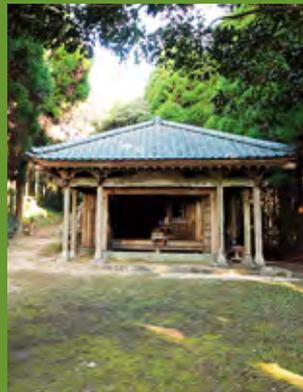
私たちの暮らしに
今や欠かせないお茶。
そのルーツも
ここ吉野ヶ里にあるのです。

日本 茶樹栽培 発祥の地 吉野ヶ里



「日本最初之茶樹栽培地」の石碑

靈仙寺跡の乙護法堂脇に建てられています。かつては9反5畝の茶園が広がっていたといわれています。



脊振千坊 聖茶まつり

毎年5月に行われるこの祭りは、栄西禅師の偉業をしのび、茶栽培の発展、地域の活性化をめざして始まりました。3年に一度の大祭では、茶つみ体験、野点、スタンブラリーなどを行い、地域の人だけでなく、遠方の人たちにも茶に親しんでもらう絶好の機会となっています。



茶樹栽培始まりの場所「吉野ヶ里」

日本茶の歴史を今に受け継ぐ

1191年、中国の宋で禅の修業を終えた臨済宗の開祖栄西禅師は、九州の山岳仏教の地として隆盛を誇っていた脊振山靈仙寺帯にも滞在し、宋から持ち帰った茶の種子を西谷石上坊の境内にまいたと伝えられています。これが「日本最初の茶樹栽培地」であるといわれるところです。江戸時代後期の資料によれば、当時靈仙寺一帯には約95

アールの茶園があったとされ、今では往時を偲ぶ唯一の建物乙護法堂前にその部が残っており、地元坂本地区の皆さんが管理しています。現在吉野ヶ里町では、茶樹栽培始まりの場所として、栄西禅師の供養とお茶の振興・発展を祈念して行われる祭りを開催しています。また、学習の一環にも取り入れるなど、日本茶の歴史や文化を受け継ぐとともに、さらなるまちの活性化をめざした取り組みを進めています。

茶育

保育園や小学校では、茶摘みやお茶の入れ方教室などを行っており、児童らは吉野ヶ里町から始まる日本茶の歴史を学んでいます。



栄西茶

地域限定のペットボトルを販売。地元スーパーやコンビニエンスストアで購入できます。



ri Graffiti

吉野ヶ里の 原風景

脊振山地と佐賀平野からなる
緑豊かな吉野ヶ里町。
訪れる人々を、昔ながらの原風景が迎えてくれます。





Y o s h i n o g a

吉野ヶ里の原風景にこころ癒やされて

脊振山系の山々に囲まれ、佐賀平野が広がる吉野ヶ里町。国の天然記念物に指定されている自生北限地のさざんかや、蛤岳山頂から見渡せる佐賀平野と有明海、晴れた日には遠くの雲仙の山々を見渡せる絶景など、ここでしか見ることのできない自然美が、多くの人の心を癒やしています。

また、坂本修学院に咲き乱れる桜、晩秋から初冬にかけて白い花を咲かせるさざんかなど、四季の豊かさをふんだんに感じられます。

慶長年間（1596～1615）に築かれた蛤水道では、自然と共存する昔ながらの原風景が残っています。



吉野ヶ里

再発見

吉野ヶ里遺跡の
発掘はこうして
始まった

推定延長2・5キロメートルの壕に囲まれた、全国一の規模を誇る環壕集落「吉野ヶ里歴史公園」。ま
ちのシンボルとも言える吉野ヶ里遺
跡が発掘されたのは、昭和61年か
ら始まった工業団地開発にともな
う発掘調査です。その結果、弥生
時代最大規模の環壕集落であるこ
とが確認され、一躍全国の注目を
集めました。また、魏志倭人伝に
記された邪馬台国の様子を彷彿と
させる建物跡などが発見されたこ
とにより、工場団地建設を中止し
て遺跡保存となりました。

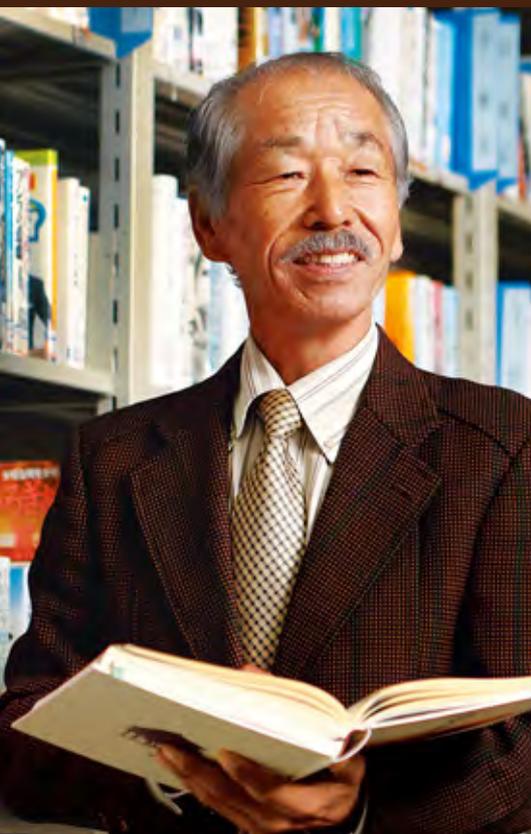


古からの メッセージ *message*

元吉野ヶ里町史
編纂委員長

おほ
於保 忠 さん

人が暮らしてきたところにはその痕跡がある。そこには、人の祈り、願いがあり、それが形や行事、所作として残っている。たとえばお祭の遊びのひとつ「力石」。重い石を持つ競争で、吉野ヶ里には26個の力石が残っている。耳を澄ませばお祭のざわめきが聞こえてくるようだ。古の人たちは神社や町なみにたくさんメッセージを残している。歴史を知り、私たちはそれを次の世代につなげていかなければならない。



全国に名が知られている
吉野ヶ里遺跡。
日本の優れた文化的資産である
遺跡を保存し、
未来へと受け継ぎます。



日本が誇る 吉野ヶ里遺跡

弥生時代における「クニ」の中心的な集落の全貌や、弥生時代700年間の移り変わりを知ることができると、非常に重要な遺跡であることから国の特別史跡に指定されています。日本の古代の歴史を解き明かす貴重な資料や情報が集まっています。

未だベールに 包まれた遺跡

吉野ヶ里遺跡が邪馬台国であると証明されたわけではありませんが、魏志倭人伝に出てくる「邪馬台国」の時代を彷彿とさせる遺跡が残る吉野ヶ里遺跡。卑弥呼が暮らし、治めていたかもしれないという歴史ロマンが感じられます。



祭り

地域色豊かな
吉野ヶ里の

吉野ヶ里ふるさと炎まつり

生活の原点である火をモチーフにした町民手作りの祭り。情報発信イベントとして平成10年から実施しています。



暮らしを豊かにした 「炎」を祀る祭典

毎年10月下旬頃、古代から人々の生活の原点である火をモチーフにした祭りが、吉野ヶ里歴史公園で行われます。古代衣装をまとった約500人の参加者が松明を手にして園内を練り歩き、幻想的な光景を醸し出しています。また、卑弥呼や巫女に扮した参加者による巨大な送り火の点火があり、厳かな雰囲気の中、壮大な古代ロマンを演出しています。

吉野ヶ里ふるさと炎まつり

「夏」ふれあい祭り



ふれあいを中心 とした夏の風物詩

八月になると、恒例の「夏」ふれあい祭りが開催されます。緑豊かな吉野ヶ里歴史公園北口を会場に、日中は親子で楽しめる体験型イベントなどが開催されます。そして夜になると赤熊太鼓の演奏や盆踊りなど、楽しいステージイベントが行われ、多くの人々で賑わう、吉野ヶ里町の華やかな夏の風物詩となっています。



ひとよし・まちよし・住んでよし 快適ふるさと 吉野ヶ里



ゆとりと うるおいのある まちづくり

利便性の高い立地条件や吉野ヶ里遺跡などの歴史・文化資源、豊かな自然環境を活かし、あらゆる世代が生活しやすく、ゆとりとうるおいのある快適な環境形成に努めています。また、地域資源を活用し、訪れる人は住んでみたいと思える、住んでいる人は住み続けたいと思える愛着あるまちづくりを進めています。



みんなで作る まちづくり

住民や各種団体と行政が対等な立場で協力・連携し、地域課題を共有できるよう、参画機会の拡充や適切な情報の受発信に努めています。また、社会情勢の変化や多様化する住民ニーズを的確に捉えるとともに、若者の意見を反映した行政運営を展開し、住民参画のもと、持続可能な理想のまちづくりを進めています。

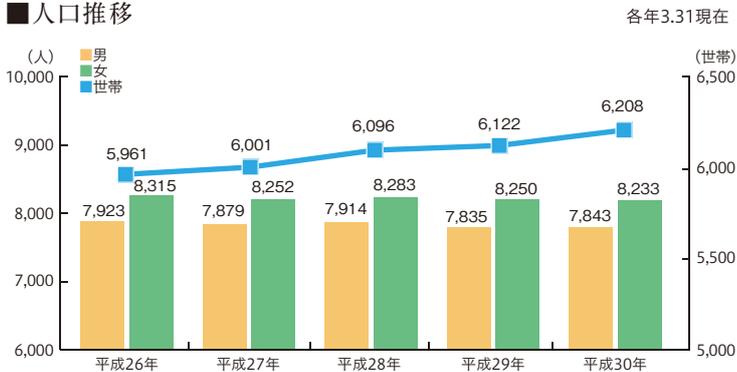


人にやさしい まちづくり

子どもから高齢者、障がい者など、住民の誰もが生涯を通じて、健やかに自分らしく暮らせるとともに、子どもを安心して産み育てることができる環境づくりを行っています。また、行政のみならず、住民、行政、ボランティアなどが互いに支え合う、人にやさしいまちづくりを進めています。



■人口推移



第2次
吉野ヶ里町
総合計画



新たなブランドと
活力を生む
まちづくり

吉野ヶ里遺跡をはじめ、本町の貴重な歴史・文化資源、自然環境など、まちの魅力が町内外に発信するとともに、新たなまちの魅力の掘り起こしを行うなど、新たな活力の創出に努めています。また、農業や産業を絡めた地域ブランドの構築を図ったプロモーション活動の展開など、新たなブランドと活力を生むまちづくりを進めています。



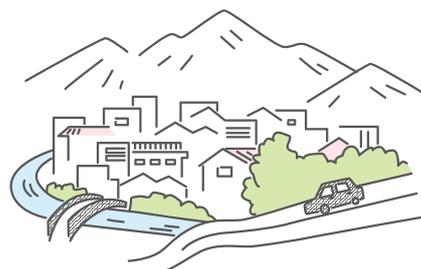
人と歴史・
文化が輝く
まちづくり

生涯を通じて学ぶことができる環境の充実を図り、住民の自主的な文化活動を支援しています。また、生涯スポーツの普及から競技スポーツの向上など、住民がスポーツに取り組むことができる環境づくりに努めています。さらに、本町の貴重な歴史・文化資源や社会教育施設等を活用し、人と歴史・文化が輝くまちづくりを進めています。



安全・安心に
暮らせる
まちづくり

道路・交通環境の充実を図り、近隣の都市や町内の交流を活発にするとともに、上下水道網など、快適な住環境整備に努めています。また、日常から地震や水害などの自然災害に備え、さまざまなリスクへの対応を想定した危機管理体制を強化し、犯罪や事故のない体制づくりなど、誰もが安全安心で暮らせるまちづくりを進めています。



日本の
ルーツ

吉野ヶ里

源
を活かすまら



佐賀県 吉野ヶ里町町勢要覧2018

発行:佐賀県 吉野ヶ里町

発行年月:平成30年10月

三田川庁舎 〒842-8501 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田321番地2
電話:0952-53-1111 FAX:0952-52-6189

東脊振庁舎 〒842-0193 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町三津777番地
電話:0952-52-5111 FAX:0952-53-1106

